

北名古屋市立小中学校
2019年5月1日現在

12年度版

1 基本方針

学校教育は、児童生徒が生涯にわたり、人間としての成長と発達を続けていく基礎となる力を養うとともに、国家および社会の有為な形成者としての資質の育成を目標とするものである。

平成30年度が市の最上位計画である「第2次北名古屋市総合計画」の初年度にあたることを念頭に各学校においては、「北名古屋市教育大綱」及び「北名古屋市推進スキーム」に基づき、児童生徒が学校生活を営む上で必要な規律を重んじるとともに、自ら進んで学習に取り組み意欲を高める。さらに、児童生徒のすぐれた個性を伸ばし、知・徳・体の調和のとれた人間形成を図り、自他の敬愛と協力を重んじ、公共精神を輝び、創造的で活力に満ちた社会の発展に尽くす態度を養う。教職員は、教育者としての使命を自覚し、絶えず研究と修養に励み、学校教育の目標と学習指導要領及び教育基本法、学校教育法等関係法の趣旨を十分理解し、校長の指導のもと一致協力して学校教育の推進に努力することを期待する。

【基本的理念】

先人の築いてきた郷土を愛し、ともに手をたずさえ、未来にはばたく市民を育成する。

- (1) 命を尊び、こころやからだを鍛え、たくましく生きる力を養う。
- (2) 自ら学び、深く考え、広い視野をもって主体的に行動する力を養う。
- (3) 礼節を重んじ、自らを律し、他とともにこころ豊かな生活を築く態度を養う。

2 重点目標

「規律」「学力」「自己有用感」をキーワードに、児童生徒に「生き抜く力」を育む信頼される学校教育を推進する。

- (1) 社会を生き抜く力を育む
 - ア 学習指導の工夫による学習指導要領内容の確実な習得、育成
 - イ カリキュラムマネジメントを徹底
 - ウ 部活動指導を充実
- (2) 世界に羽ばたく力を育む・・・英語教育の充実
- (3) 学びのシーテイングの充実
 - ア 学習や社会生活に困難を有する児童生徒への教育支援の充実
 - イ いじめ、不登校等への取組の徹底
- (4) 地域とともにある学校づくりの推進
 - ア 北名古屋市版コミュニケーション・スキールの充実・強化
 - イ 「早寝、早起き、朝ご飯」の徹底
- (5) 教育環境の充実
 - ア 安全・安心な学校生活・学校施設の推進
 - イ 教育の質の向上をめざし、学び続ける教員への支援の充実

3 学校紹介

(1) 児童生徒数・学級数・教職員数等の現況

平成30年5月1日現在

区分 学年数 学校名	児童生徒数 (上段)						学級数 (下段)		教職員数		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別 支援	計	本務 教員	講師 非常勤 (併任)	職員 計
師勝小学校	104	91	117	101	101	109	9	632	30	7	2
	3	3	3	3	3	3	2	20			39
西春小学校	96	80	117	99	105	92	8	597	29	4	34
	3	3	3	3	3	3	2	20			
師勝南小学校	99	112	99	108	111	112	10	651	30	4	35
	3	4	3	3	3	3	3	22			
五条小学校	78	69	89	66	84	76	10	472	25	4	31
	3	2	3	2	3	2	3	18			
鳴田小学校	57	50	62	54	59	46	6	334	23	4	28
	2	2	2	2	2	2	3	15			
師勝北小学校	69	63	54	73	71	63	10	403	20	5	26
	2	2	2	2	2	2	2	14			
師勝東小学校	75	82	74	77	88	81	12	489	28	4	33
	3	3	2	2	3	3	4	20			
栗島小学校	54	73	72	64	65	66	9	403	24	4	29
	2	3	2	2	2	2	3	16			
師勝西小学校	100	121	115	98	111	106	6	657	31	3	35
	3	4	3	3	3	3	3	22			
白木小学校	55	66	60	69	50	49	7	356	20	3	24
	2	2	2	2	2	2	2	14			
計	787	807	859	809	845	800	87	4,994	260	42	314
	26	28	25	24	26	25	27	181			
師勝中学校	176	193	194	/	/	/	7	570	33	4	38
	6	5	5	/	/	/	2	18			
西春中学校	131	124	117	/	/	/	4	376	27	6	34
	4	4	3	/	/	/	2	13			
白木中学校	96	100	123	/	/	/	2	321	26	4	31
	3	3	4	/	/	/	2	12			
訓原中学校	126	131	125	/	/	/	6	388	27	3	31
	4	4	4	/	/	/	2	14			
熊野中学校	133	142	168	/	/	/	2	445	26	5	32
	4	4	5	/	/	/	1	14			
天神中学校	115	121	105	/	/	/	4	345	26	4	31
	4	4	3	/	/	/	2	13			
計	777	811	832	0	0	0	25	2,445	165	26	197
	25	24	24	0	0	0	11	84			
合 計	/	/	/	/	/	/	7,439	425	68	18	511
	/	/	/	/	/	/	265	(30)			

1/4

1 教育目標 【心をつなぐ】

校訓「じょうぶな体」「やさしい心」「なすとげる力」
教師と児童の信頼関係及び児童相互の心の通い合いを基盤として、共感的に学び合う集団づくりをめざす。

(1) めざす児童像「当たり前のことが 当たり前に できる子」

ア 明るく元気で、はじめのある子

イ 礼儀正しく、思いやりと感謝の心をもつ子

ウ やる気いっぱい、何事にも進んで取り組む子

(2) めざす教職員像「専門職としての 使命感をもつ 教職員」

ア 魅力にあふれ、信頼される教職員

イ 子どもの心に寄り添い、一人一人を大切にせる教職員

ウ 学ぶ意欲を引き出し、子どもの可能性を伸ばす教師

(3) めざす学校像「通いたい学校 通わせたい学校」

ア 明るく楽しく安心して活動できる学校

イ 学ぶ楽しさを味わえ、分ける喜びを体感できる学校

ウ 保護者・地域住民と連携して子どもを育てる学校

2 経営方針

(1) 教職員相互の信頼と連携を深め、協働して教育目標の具現化に努める。

(2) 教職員一人一人の資質と専門性を高め、協働体制の下で子ども達の指導に努める。

(3) 学ぶ楽しさ、分ける喜びを味わえる授業を展開し、確かな学力の定着に努める。

(4) いじめ未然防止に向けて、思いやりの心と感謝する心の育成に努める。

(5) コミュニティ・スクールの理念の下、学校・家庭・地域の一層の連携を図り、地域とともにある学校づくりを努める。

3 重点努力目標

(1) 生活面

「あいさつ」「返事」「整理整頓」など、基本的な生活習慣の確立を図る。

ペーパー活動を中心とした様々な活動を通して、自己有用感と感謝の気持ちが高めると同時に、責任感を培い、いじめ未然防止に努める。

「道徳」授業の充実 認め合い、励まし合う集団作り 人権教育の推進

(2) 学習面

学習指導の工夫改善に努め、一人一人を大切にしたい楽しい授業、分かる授業を展開する中で、学習に対する意欲と確かな学力（基礎学力と考える力）を培う。

「学習規律の徹底 読解力・計算力の向上 家庭学習の定着」

(3) 健康・安全面

外遊び・読書を奨励し、健康な体と豊かな人間性を育む。

「早寝」「早起き」「朝ごはん」を家庭と協力して推進し、身体的に健康な子どもを育てる。

子ども達の命や安全を守るための指導に力を入れ、危機管理体制の充実に努める。

子ども達や教職員の健康状態を把握し、多文化等の阻害要因の解消に努める。

「体力の向上 読書活動の推進 危機管理・健康管理の推進」

(4) 家庭・地域とのつながり

家庭・地域への情報発信に努めるとともに、外部講師や学校支援ボランティア、郷土の伝統・文化及び施設を活用を図り、学校と家庭・地域との連携を深めることで、子どもたちの夢に向

かって生きぬく力・学力を育む。

「積極的な情報発信 コミュニティ・スクールの推進 学校支援活動の充実」

4 家庭・地域とのつながり

家庭・地域への情報発信に努めるとともに、外部講師や学校支援ボランティア、郷土の伝統・文化及び施設を活用を図り、学校と家庭・地域との連携を深めることで、子どもたちの夢に向

かって生きぬく力・学力を育む。

「積極的な情報発信 コミュニティ・スクールの推進 学校支援活動の充実」

1 本校の教育目標

めざす子供の姿 ★ 当たり前のことがしつかりとできる子

○ いのちを尊び、礼儀正しく、心・体を鍛え、はじめのあるたくましい子

○ 旺盛な探究心と創造力を持ち、進んで学習する子

○ 豊かな情操と人間愛にあふれた、思いやりのある子

めざす教職員の姿

○ 子供、保護者、地域の期待や思いに応え、情熱と使命感を持って学び続ける教職員

2 経営方針

(1) 全教職員の共通理解と協働体制のもと、教育目標の具現化を図る。

(2) 児童の実態に基づいた教育課程を編成し、基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着を図るとともに、それらを活用する力をはぐむ指導に努める。

(3) いじめ根絶を目指し、他を思いやることのできるやさしい子を育てる。

(4) コミュニティ・スクールの理念のもとに「開かれた学校」「家庭・地域との連携・協働」を推進し、「信頼され期待に応える学校づくり」を目指す。

(5) 現職教育を充実させ、教職員の資質と力量の向上を図る。

(6) 多文化解消への取組（業務の効率化・部活休養日・定時退校日）を実践し、教職員の心身の健康保持を図る。

3 重点努力目標

「当たり前のことがしつかりとできる学校」 ― 子供を認め、励まし、心に響く指導を通して―

ア 学校内における正しい言葉づかひの奨励に努める。（教師の意識強化）

イ 「あいさつ」「返事」「整理・整頓」など基本的な生活習慣の確立を図る。

ウ 「考え、議論する道徳教育」の充実を努め、よりよく生きるための道徳性を養う。

エ わかる授業で確かな学び

ア ドリル学習・本読み計算・音読などによる基礎・基本の定着を図る。

イ 「五条スタイル」（主体的・対話的な学び）を進め、思考力・判断力・表現力等の育成に努める。

(3) 学習規律の徹底と家庭学習の定着

ア 「五条スタイル」（学習規律方針）の徹底を図る。

イ 宿題や読書を中心とした家庭学習の定着を図る。（10分×学年の徹底）

ウ 体力向上及び心身の健康の保持増進

ア 「元気キャッチ運動」（60分外遊び・早寝早起き朝ごはん）の習慣化を通して、体力の向上を図る。

イ いのちの学習や心の健康に関する指導を通して、自己有用感・自己肯定感を高める。

(5) 教師・保護者・地域の連携・協働で子供を育てる

「学び合う教師集団づくり」と「信頼され期待に応える学校づくり」を通して、相互の連携を深め、生きぬく力・学力を育む。

「だしたなみ・そうじ・あいさつ・あいかんを守る・+（プラス）」

2/4

3/17